



編集委員  
自治医科大学学長 高久史磨  
慶應義塾大学名誉教授 猿田享男  
東京大学医学教育国際協力  
研究センター教授 北村 聖  
企画  
国立国際医療センター  
高度先進医療部長・血液内科長 三輪哲義

## 特集 多発性骨髄腫 ——飛躍的な進歩を続ける病態解析と最新治療——

### エディトリアル

国立国際医療センター高度先進医療部長・血液内科長 三輪哲義●7

### 多発性骨髄腫の増殖機序

#### 骨髄腫細胞側からみた増殖動態

山口大学医学系研究科・細胞シグナル解析学教授 河野道生●8

#### 造血間質（骨髄微小環境）からみた増殖動態

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部生体情報内科学准教授 安倍正博●13

### 多発性骨髄腫の多様性

#### 症候学からみた多様性

富山県立中央病院内科部長 吉田 喬●18

#### 細胞生物学からみた多様性

熊本大学医学部血液内科 河野 和●22

#### 遺伝子からみた多様性

医療法人新生会高の原中央病院血液内科部長 山形 昇●26

### 多発性骨髄腫の病期分類および奏効性評価

#### 多様な病期分類

群馬大学大学院医学系研究科保健学専攻教授 村上博和●32

#### 奏効性評価方法—FLC, real-time PCRを含めて—

新潟県立がんセンター新潟病院内科部長 張 高明●37

### 多発性骨髄腫の最新治療

#### 治療概論

名古屋市立緑市民病院院長 清水一之●44

#### 多剤併用療法

札幌医科大学内科学第一講座 安井 寛●49

#### 多発性骨髄腫に対する細胞療法—造血幹細胞移植療法を含む—

社会保険京都病院血液内科医長 初瀬真弓●54

#### ボルテゾミブ療法

愛知厚生連海南病院血液内科医長 矢野寛樹●60

#### サリドマイドおよびIMiDsの位置づけ

国立国際医療センター高度先進医療部長・血液内科長 三輪哲義●65

#### 新規薬剤と造血幹細胞移植療法との統合療法

徳島大学病院輸血部講師 尾崎修治●76

#### 維持療法の最新知見

広島赤十字・原爆病院検査部部長 麻奥英毅●81

#### 多発性骨髄腫に対する支持療法

—骨障害対策, 腎障害対策, 骨髄不全対策, 高粘稠度症候群対策, 高アンモニア血症対策, 造血幹細胞移植時のcryotherapy, NSTなどを中心に—

国立国際医療センター高度先進医療部長・血液内科科長 三輪哲義●87

### 治療薬解説

#### 抗DKK-1抗体を含めた抗骨髄腫作用を有するヒト型化抗体療法

秋田大学医学部血液腎膠原病内科学分野 亀岡吉弘●104

### Key words

#### 骨髄腫病勢のモニタリング

#### —遊離軽鎖の意義とCDR3領域のリアルタイムPCR法

常滑市民病院副院長兼内科部長 名倉英一●110

#### HDAC阻害剤と骨髄腫増殖

国立がんセンター中央病院第一領域外来部部長 飛内賢正●111

#### ヒートショック蛋白阻害剤の抗骨髄腫効果

東京大学医学部附属病院血液・腫瘍内科講師 今井陽一●112

### 座談会

#### 多発性骨髄腫の最新治療を考える

—多様性をいかに把握し, 至適病型別治療を実践するか— ●114

司 会 三輪哲義 国立国際医療センター高度先進医療部長・血液内科長

出席者 谷脇雅史 京都府立医科大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学教授  
木崎昌弘 埼玉医科大学総合医療センター血液内科教授

バックナンバー ●128

次号内容目次 ●129